

大自然を満喫

～四国山地砂防の桑瀬床固工群～

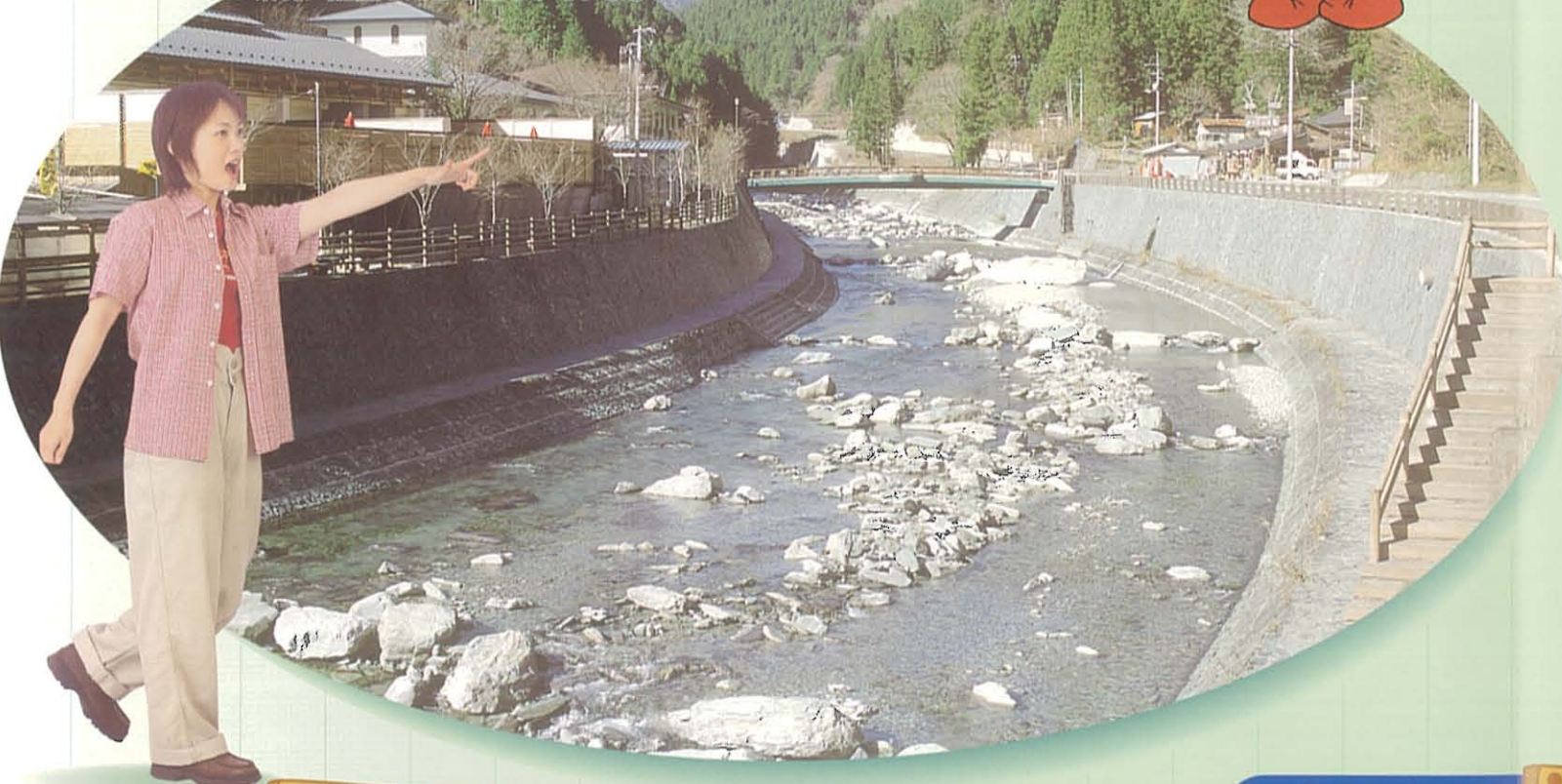


景観と一体化するデザインで、豊かな水辺空間を演出。

くわ せ と こ が た め こ う ぐ ん

●安全性を高める桑瀬床固工群

工事前の桑瀬地区は、河川幅が狭く、川底には不安定な土砂や石が数多く点在していました。集中豪雨等によって、そうした土砂が押し流され、川が氾濫すると大きな被害が出ます。そうした被害を未然に防ぐため、川底と川岸の安定、および水がスムーズに流れるよう工事が行われました。また、当地区は寒風山の麓で、大自然を満喫できる観光スポットとなっており、施設の計画(デザイン)は環境に配慮したものとなっています。



レストラン・公衆トイレ



イベントホール・温泉棟・宿泊棟



道の駅 木の香



ユズ谷砂防堰堤
高さ 11.0m
長さ 38.8m
貯砂量 2,000m³



遊具施設・コテージ

床固工 : 3基、帯工4基
護岸工 : 延長436m、面積5,800m²
工事期間 : H5年12月~H13年3月
全体工事費 : 9.8億円

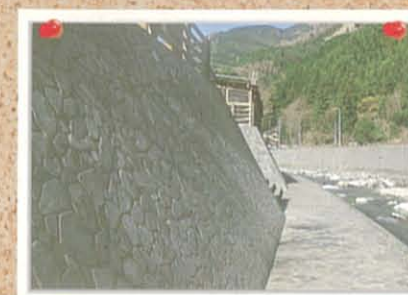
●環境に配慮した桑瀬床固工群



① 護岸下部に遊歩道を設けるなど、水辺への近づきやすさを演出しました。



② 石と石の隙間が川にすむ魚たちの生息場所になります。



③ 護岸表面にも自然石を使用しました。



④ 河原の石を利用し水辺の表情を豊かにしました。



⑤ アメゴつり大会の会場としても利用されています。(毎年5月5日と秋の2回実施されています。)





床固工とは？



床固工は、川底や川岸が侵食されるのを防ぐため、落差の低い横工をいくつも階段のように並べ川の勾配を緩やかにするものです。また、帯工とは落差のないものを言います。護岸工は、川の流が集中する川岸を保護し、侵食によって土砂が下流へ移動するのを防ぎます。床固工群とは、これらの施設を併用するものです。

※ 横工とは、河川の流れを制御するために、川岸に設けられる河川工作物で、流水に対し直角または直角に近い形で河川を中心に突き出す形のもの



どうして川底が侵食されるの？

川の流は川底や川岸をけずりとり働きがあります。侵食の強さは水量が多く、流れが速いほど大きくなります。傾斜が急な川の上流域ではさかんに侵食され、川底がVの字にえぐれていきます。



川底が侵食されるとどうなるの？



川底が侵食されると、押し流された土砂は勾配が急に変化する所に溜まり、水の流が不安定になります。大雨が降ったときには土石流等の災害が起こる可能性が高くなります。



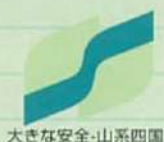
お問合せ先

国土交通省 四国地方整備局

四国山地砂防事務所 〒779-4806 徳島県三好市井川町西井川68-1
TEL: 0883(72)5400 FAX: 0883(72)5741

吉野川砂防出張所 〒781-3601 高知県長岡郡本山町本山465-6
TEL: 0887(76)3901 FAX: 0887(76)3477

URL: <http://www.skr.mlit.go.jp/sabo/>



大きな安全-山系四国



地球に優しい
大豆インキを使用しています。



古紙配合率100%の再生紙を使用しています。